



牧師 間瀬 善彦

今年も12月になり、イエス・キリストのご降誕を祝うクリスマスが近づいてまいりました。教会では、クリスマスの4週前からアドベント（待降節）の期間に入ります。「すべての人類の救い主」としてこの世に来てくださいましたイエス・キリストの御誕生を待ち望む期間です。

「すべての人類の救い主」、と書きましたが、これはどういうことなのでしょうか。聖書にこのようなたとえ話があります。ぶどう園の主人が、ぶどう園で働く労働者を雇うために、夜明けに出て行きました。主人は、1日につき1デナリオン（当時の労働者1日分の賃金）の約束で、労働者を雇いました。また、9時頃、12時頃、3時頃にも出かけて行き雇いました。5時頃にも行ってみると、仕事にあぶれて「だれも雇ってくれないのです」と言ったので、彼らも雇いました。夕方になり、ぶどう園の主人は監督に、「労働者たちを呼んで、最後に来た者から始めて、最初に来た者まで順に賃金を払ってやりなさい」と命じました。5時頃に雇われた者から順番に1デナリオンずつ払われたのですが、最初に雇われた者たちは、もっと多くもらえるだろうと思いました。しかし、彼らも同じ1デナリオンだったのです。それで、主人に不平を言いました。「最後に来たこの連中は、1時間しか働きませんでした。まる1日、暑い中を辛抱して働いたわたしたちと、この連中とを同じ扱いにすることは」ということですかと尋ねました。主人は答えました。「友よ、あなたに不当なことはしていない。あなたはわたしと1デナリオンの約束をしたではないか。…わたしはこの最後の者にも、あなたと同じように支払ってやりたいのだ」。

多くの人びとはこのたとえ話を聞いて、最初から働いていた者の言ったように、不公平だと思われるかもしれません。しかし、これは天の国（神の国）の話なのです。何時間働いたかということではなく、この場合、1デナリオンは、わたしたちに等しく神から与えられる救いを表わします。主人（イエス・キリスト）は、一番最後の者までもすべて救いの中に入れてあげたいのです。それで何度も広場に出かけて行ったのです。

救いというのは、イエス・キリストが、わたしたちの罪の身代わりとなり十字架に付けられ、死ぬことによって、わたしたちのために救いの道を開いてくださいました。

来年も皆さんにとって良い年でありますように、お祈りいたします。

キャロリング

今年も12月になりました。教会では、12月24日の夕方（クリスマスイブの日）は、ローソクを灯し、讃美歌をうたって、イエス・キリストの御誕生を静かに待ち望みます。

その後、キャロリングに行きます。キャロリングとは、イエス・キリストの御誕生を喜び、街に出て行って讃美歌をうたうことです。経堂でも、駅の前や、経堂コルティの前で、24日の夕方、教会の人たちが讃美歌をうたっています。

数年前、日本の社会が非常に景気の悪い時期がありました。そのとき、多くの方々が会社をリストラされて、職を失いました。

その頃に、北海道の教会で本当にあった出来事です。

北海道のある教会で、おばあさんが、「クリスマスイブの日、わたしの家にキャロリングに来てください」と言いました。イブの日の夜、教会の人たちはキャロリングに回りました。おばあさんの家は、毎年行くのですぐわかるはずでした。しかし、この時はなぜかおばあさんの家がわからなくなりました。「おかしいなあ、確かこの道だったはずなのに…」。やっとこの家だと見つけて、玄関の前で教会の人たちは美しい声で讃美歌をうたいました。

実は、この家はおばあさんの家ではなかったのです。その家はお父さんが会社をリストラされて、これから先どのように生きていこうか、どのように生活をしていこうかと悩み、一家心中をしようと思っていた家でした。それが、美しい讃美歌が流れてきて、心がいやされ、何とか生きていこうと思いとどまったそうです。

その頃、おばあさんとは言いますと、教会の人たちが来るのを待ち遠しく思い、何度も何度も紅茶やミルクを温めたりしていました。家を間違えておばあさんの家にはキャロリングは行けませんでしたが、一家心中しようとしていた家族が元気になり、これから生きる道が備えられ、生きる希望が与えられたのです。

もちろん、このことを後から知ったおばあさんも大変喜んだそうです。

わたしは困って、助けを求めて教会に行ったのではありませんが、いままで生きてきた中でいろいろと困難が沢山ありました。そのとき、聖書の中の1つ1つの言葉に励まされ、進むべき道が与えられました。聖書の言葉によって、豊かな人生をおくっています。

クリスマスのご案内

☆ 12月18日（日）クリスマス礼拝 10:30～11:45

クリスマス祝会 12:00～13:30

美味しいお食事をしながら、劇を見たり
プレゼント交換もいたします。
どなたでもご参加ください。

☆ 12月24日（土）クリスマスイブ礼拝 17:00～18:20

ローソクを灯した教会で
讃美歌をうたいます。
どなたでもご参加ください。



聖書を学ぶ会

- 牧師から詳しく聖書を学びます。
- 讃美歌も歌い楽しい会です。

毎週火曜日 午後1時30分～2時30分

聖書研究・祈り会

- 静かな夕べに聖書を学びます。
- 共に祈り合います。

毎週水曜日 午後7時30分～8時30分

教会学校（幼児科）

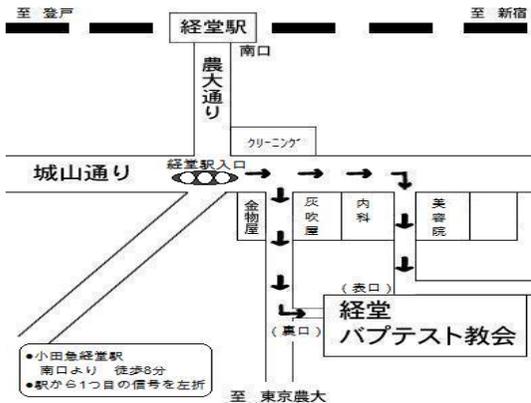
- かわいい讃美歌を歌って、聖書のやさしいお話を聞きます。お祈りもします。

毎週日曜日 午前10時～10時20分

教会学校（成人科）

- 礼拝の中で、牧師のお話を聞いて、感想や意見を述べ合います。わからないところは質問もできます。

毎週日曜日 礼拝後



経堂バプテスト教会

牧師 間瀬 善彦

〒156-0053 世田谷区桜1-64-30

TEL 03-3427-2352

※当教会はプロテスタント教会です。エホバの証人、モルモン教、統一協会などとは異なります。